



LEICA SL3 LEICA SL3-S

FIRMWARE UPDATE 4.2.0

NEW

- **フォルスカラー（動画）：**

ライブビュー時に露出状態を色分けして表示できる新アシスト機能を搭載しました。特に人肌の露出状態を一目で正確に把握できます。

- **HDMI経由でのミラーリング（ユーザーインターフェースを含む）：**

アイコンを含むすべてのカメラモニター表示をHDMI経由でミラーリングできるようになりました。この機能は新しいメニュー「**ミラーリング（HDMI経由）**」にて簡単にオン/オフに切り替えることができます。

- **レンズプロファイル：**

新製品「ライカ ノクティルックスM 35 f/1.2 ASPH.」に対応しました。

- **AF車両認識機能：**

「AF認識方式」メニューに、車両検出オプションが追加されました。車両全体またはパーツを検出するか選択できます。

改善機能

- **動画プロファイル設定メニュー：**

動画形式の選択メニューが最適化され、新しく導入されたフィルター機能により、これまでよりはるかに簡単かつ迅速にお好みに合わせて設定できるようになりました。

- **ファームウェアアップデート時のメッセージ表示：**

モニター設定 (EVE/LCD) にかかわらず、アップデートに関連するすべてのメッセージが自動的にモニターに表示されるようになりました。

- **全画面表示 (再生モード時)：**

既存の情報プロファイルに加え、撮影情報やアイコンなどを表示せずに画像のみを表示するページが追加されました。情報プロファイル4の次に (情報プロファイル1に戻る前) に表示されます。

- **最適化されたメニュー項目Leica Lookのユーザーインターフェース：**

Leica Lookの各パラメータを調整する画面が簡素化され、設定をより迅速に調整できるようになりました。

- **レンズリスト：**

MレンズリストとRレンズリストがユーザープロファイル内に保存されなくなり、すべてのプロファイルで利用可能になりました。

- **最適化された電子シャッターの反応時間：**

電子シャッターを使用した (15fpsより高速) 連続撮影時のシャッター遅延が大幅に短縮され、シャッターボタンを押した瞬間 (S2) に撮影が行われるようになりました。

- **トラッキングフレーム表示：**

AFモード**トラッキング**では、フレームの色が検出状況に応じて異なって表示されるようになりました。人物や動物が検出されていない場合でもピントが合っている場合はフレームの角が緑色で表示されます。

トラブルシューティング

- 「ライカ ノクティルックスM 50 f/1.2 ASPH.」レンズプロファイルを使用中のビネッティング補正において過度の補正が行われる可能性があった不具合を修正しました。
- ユーザープロファイルをインポート後、コントロールセンター (CC) でアイコンが表示されなくなった不具合を修正しました。
- 特定の照明条件下で、シャッターボタン (S1) を半押しした際にEVFに水平の赤い線が表示されることがあった不具合を修正しました。(SL3のみ)
- 動画モードにおいて、特定の状況下で左チャンネルのオーディオレベルメーターに誤った振れが生じていた不具合を修正しました。

ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

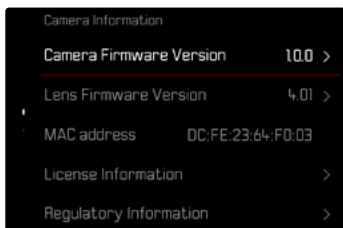
最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- アプリ「Leica FOTOS」から（推奨）
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- メインメニューで **カメラ情報** を選択する。
 - 現在のファームウェアバージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://club.leica-camera.com>

ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- カメラの電源を切らない。
- メモリーカードを取り出さない。
- バッテリーを取り出さない。
- レンズを取り外さない。

メモ

- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

使用前の準備

- バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要のないものを消去する。
 - メモリカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。
(注意：データ消失！フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
 - ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。

カメラのファームウェアをアップデートする

専用アプリ「Leica FOTOS」から

アプリ「Leica FOTOS」のホーム画面にてカメラのファームウェア・アップデート情報を受け取ることができます。

→ アプリ「Leica FOTOS」の指示に従う。

メモ

- カメラのファームウェアのアップデートにはLeica FOTOSのバージョン4.8.0より新しいものが必要です。
- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。

カメラメニューから

→ 準備する。

→ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。

→ **カメラ ファームウェアVer**を選択する。

→ **アップデートを開始**を選択する。

- アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。

→ バージョン情報を確認する。

→ **はい**を選択する。

→ **はい**または**いいえ**を選択する。

- アップデートが自動的に開始します。
- 処理中は、LEDランプ（下）が点滅します。
- 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。

→ カメラの電源を入れなおす。

レンズのファームウェアをアップデートする

ファームウェアのアップデートは、ライカSLレンズだけでなく、Lマウントアライアンスのすべてのレンズに行うことができます。

通常、カメラの最新バージョンのファームウェアとともにレンズ ファームウェアも同時にインストールされるため、手動で行う必要はありません。ファームウェアのアップデート中に装着されているSLレンズのファームウェアが自動的にアップデートされます。レンズを交換した際にアップデートが必要な場合は、カメラにメッセージが表示されます。

カメラのファームウェアアップデートに関する注意事項は、このファームウェアアップデート時にも適用されます。

- 準備する。
- メインメニューで **カメラ情報** を選択する。
- **レンズ ファームウェアVer** を選択する。
- **アップデートを開始** を選択する。
 - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- **はい** を選択する。
 - アップデートが自動的に開始します。
 - 処理中は、LEDランプ（下）が点滅します。
 - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

フォルスカラー

「フォルスカラー」は、動画撮影用の露出確認ツールです。特定の輝度範囲を異なるカラーで色分けし、露出値を画面上に表示します。

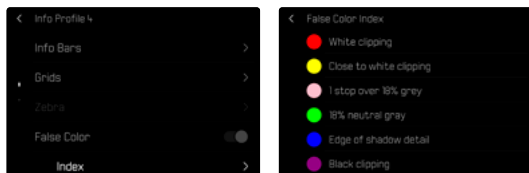
これにより、周囲の光やモニター輝度設定に関係なく、露出を極めて正確に判断することができます。特に肌のトーンの露出状態を正確に把握するのに適していて、露出オーバーや露出アンダーを確実に防ぐのに役立ちます。



- メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- 希望するプロファイルを選択する。
- **設定**を選択する。
- **フォルスカラー**を選択する。

ピーキングの色を変更する

表示色を変更できます。この設定はすべての情報プロファイルに有効です。



- メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- 希望するプロファイルを選択する。
- **設定**を選択する。
- **フォルスカラー**を選択する。
- **インデックス**を選択する。
 - 輝度範囲ごとの色分けが表示されます。

メモ

- フォルスカラー表示がオンになっている場合、その他のアシスト機能 (**ゼブラ**、**フォーカスピーキング**、**水準器**、**ヒストグラム**、**フレームライン**) は自動的にオフになります。

AF認識方式 (自動被写体認識機能)

自動被写体認識機能により、カメラは人物や動物の目、顔、体や車両、車両のパーツなどさまざまな被写体を自動的に認識し、焦点を合わせます。被写体が動いたり、一時的に隠れたりした場合でも、メインの被写体に確実に焦点を合わせ続けることができるなど、あらゆる撮影状況において正確かつ継続的な追尾が可能です。

→ メインメニューでAF認識方式を選択する。

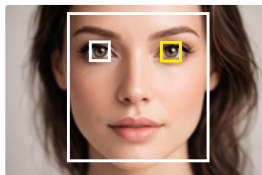
→ 希望する設定を選択する。

(オフ、人(瞳/顔/全身)、人(瞳/顔)、動物(全身)、動物(瞳/全身)、車、車(パーツ))



顔認識時に目が検出された場合、その瞳に焦点が合います。複数の目が検出された場合は、どの目に焦点を合わせるかを選択することができます。現在選択されている瞳がハイライト表示されます。

→ ジョイスティックで希望する方向に移動させる。



車認識では、より遠くにある被写体や高速で移動する被写体が優先的に認識されます。

→メインメニューでAF認識方式を選択する。

→車を選択する。



車(パーツ)認識は、車両や運転手のより細かい部分(車体部品、ヘルメットなど)の検出に適しています。

→メインメニューでAF認識方式を選択する。

→車(パーツ)を選択する。

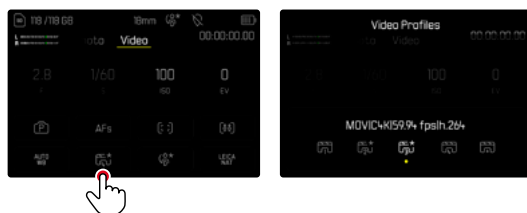


動画形式

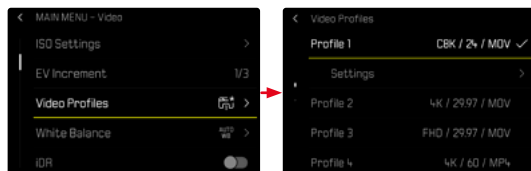
利用可能な動画フォーマットは、編集可能な動画プロファイルとしてあらかじめ定義されています。しかし、解像度、フレームレート、コーデック、その他のパラメータの組み合わせは多岐にわたり選択可能な組み合わせが多くあります。そのため希望するパラメータをすばやく選択できるよう、ガイド付きフィルター機能が導入されました。これにより、各設定オプションを段階的に順を追って進めることができます。その際選択されたパラメータと互換性のある動画フォーマットのみが表示され、利用できない組み合わせは自動的に非表示になります。これにより、矛盾した設定や試行錯誤をすることなく、目的の動画プロファイルを的確かつ効率的に作成することができます。

動画形式を設定する

コントロールセンターから

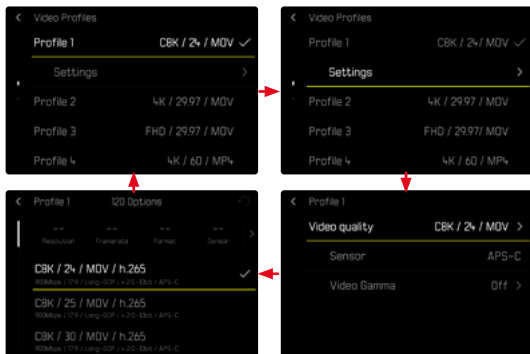


メニューで操作する



- メインメニューで**動画プロファイル**を選択する。
- 希望するプロファイルを選択する。

プロフィールを設定するには



- メインメニューで**動画プロフィール**を選択する。
- 希望するプロフィールを選択する。
- 希望するフィルター設定を選択する。
 - 画面上部のフィルターには、各ステップで選択可能なオプションが表示されます。

情報プロフィール

それぞれ独立した4つのプロフィールとフルスクリーンモードが利用でき、プロフィールごとに必要な機能を選択し、応じて組み合わせを変えることができます。情報プロフィールの切り替えには、ショートカット機能が使用できます。初期設定では、FNボタンに機能が割り当てられています。これにより、撮影補助表示をすばやく切り替えることができます。

初期設定では、以下のプロフィールが設定されています。

プロフィール	初期設定
1	情報表示バー(上/下)のみ
2	画像の全画面表示 (撮影補助表示 オフ)
3	情報表示バー(上/下 + 右)、クリッピング/ゼブラ、フォーカスピーキング、ヒストグラム
4	情報表示バー(上/下 + 右)、グリッド、クリッピング/ゼブラ、水準器
5	フルスクリーン (情報表示なし)



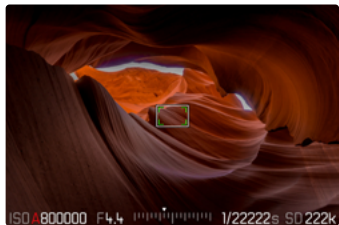
The diagram illustrates the sequence of camera information profiles. It shows five vertical panels representing different profiles, connected by red arrows in a clockwise cycle: 1 (top) to 2, 2 to 3, 3 to 4, 4 to 5 (bottom), and 5 back to 1.

AF認識方式

トラッキング被写体検出モードがオンの場合

AFモードAF認識方式で被写体認識（人または動物）に設定されている場合、検出された被写体に（内容に合わせたサイズで）フレームが表示されます。

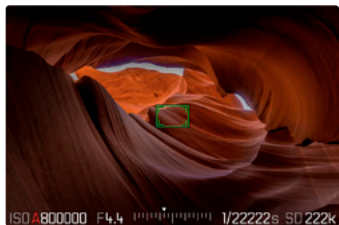
カメラが被写体（人または動物）を検出すると、追尾が開始されフレームが表示されます。被写体が検出されないまま、シャッターボタンを半押ししても追尾されません。



ピントが合っている場合はフレームの角が緑色で表示されます。検出フレーム自体は白色のままです。色分けにより希望する被写体を検出されピントが合っているか素早く確認することができます。

トラッキング被写体検出モードがオフの場合

AFモードが人物認識もしくは動物認識に設定されていない場合に被写体にピントが合うと、AFフレームと内側の角の両方が緑色で表示されます。



LEICA LOOK

LEICA LOOKをカスタマイズする

Leica Lookはファイルによりカスタマイズ可能です。

LOOKファイルのカスタマイズ制限

カスタマイズ可能	強度のみ	カスタマイズ不可
Core Looks (Standard、Vivid、Natural、Monochrome、Monochrome High Contrast)	Essential Looks (Teal、Chrome、Eternal等)	Artist Looks または Partner Looks (Greg Williams)

メモ

- 上記の内容は新しいLOOKが追加された場合に変更されることがあります。

→メインメニューで**Leica Look**を選択する。

→希望するプロファイルを選択する。

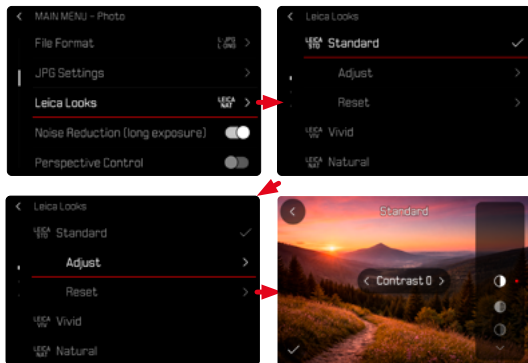
→**カスタマイズ**を選択する。

→**コントラスト/ハイライトトーン/シャドウトーン/シャープネス/彩度**を選択する。

→希望のレベルを選択する。

(-2、-1、0、+1、+2)

→必要に応じて**強度**を%で設定する。



HDMI経由で外部モニターにミラーリングする

本機能ではカメラのモニター画面全体をHDMI経由で外部モニターに出力できます。

ミラーリングでは、設定メニューだけでなくカメラモニター上の表示と全く同じくライブ映像も表示されます。本機能は、特に撮影現場で撮影内容の確認を目的としています。HDMIが外部デバイスへの記録に使用していない場合にのみ使用できます。

- メインメニューで**カメラ設定**を選択する。
- **ミラーリング (HDMI経由)**をオンまたはオフにする